

感染状況・医療提供体制の分析(11月3日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計		前回の数値 (10月27日時点)	現在の数値 (11月3日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	29人 (1.5人)	75人 (4人)	➡	総括 コメント	レベル3. 感染が拡大しつつあり警戒が必要
		60歳以上 (総数に占める割合)	4人 (14%)	11人 (15%)	➡		
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	20人	51人	➡		新規陽性者は <u>人口10万人当たり4.0人</u> と増加。県内でクラスターも複数発生し、人口当たり感染者数は全国でも上位。 世界的に見ても、感染が再流行している地域もある。人の移動が増える時季となり、今後感染者増加が懸念される。ワクチン接種推進、接種完了後の感染対策継続など、現在の取組みを維持する必要がある。
		県南西部	4人	13人	➡		
		高梁・新見	0人	9人	➡		
		真庭	0人	0人	➡		
		津山・英田	5人	0人	➡		
	市中潜在・ ③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	13人	19人	➡		
		割合 (③/①)	45%	25%	➡		
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)		10人 (2%)	10人 (2%)	➡	総括 コメント	レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる
	⑤宿泊療養者数		9人	20人	➡		
	⑥自宅療養者数		14人	33人	➡		宿泊・自宅療養者数増加も、入院患者数不変。通常の医療は提供できている。
	⑦重症者数		1人	1人	➡		